



先日は悪天候のなか、弦楽セミナーお疲れさまでした。定演に向けて各自の目標や課題が見つかったことと思います。今回は弦楽セミナーの様子をお届けします。



Va 迫田 和代

セミナー当日悪天候の中、強風に煽られながらグラントワ到着。欠席する方多いかな？と、ドアを開けてビックリ！もう全員集合ですよ～。

講師の先生も、加藤さんも、石川先生…途中でチェーンお買いになって、三輪先生は膝上雪の中、釣り用長靴で雪かいて来られたのですか？～驚きました。そして練習こんな何十年に一度の大雪の日に、普通に何食わぬ顔で、皆さんと音楽を楽しんでいるのが不思議…。

なんだかとっても幸せだあ～

先生、グラントワの方々、皆さん、本当に本当にありがとうございました。



Vn 渡部 恵美

今回のセミナーは東京アーティスト合奏団から4名、三輪先生にも講師に加わっていただき、各パートそれぞれで指導を受けることができました。短い時間の中、内容の濃いセミナーになったのではないかと思います。最初の合奏時に高野先生から「曲の面白さ・表情を表現すること」について指摘がありましたが、ファーストヴァイオリンでは特に曲のストーリー性やそれをどう演奏すれば表現できるのか、セントポール組曲の中の具体的な演奏の仕方だけでなく、体を安定させて演奏することや、ビブラートをきちんとかけること、音と音の間も弾く・歌うことなど、どんな曲でも共通する指導もありました。また、曲の面白さも縦が揃っていないと聴き手には伝わらない、との指摘もありましたので、まず縦が揃った演奏をすることが最低ラインで、その上で全員が聴き手に伝わる演奏をしなければならぬと思いました。そのためにはまず団員一人ひとりがしっかりと演奏出来ていることが重要になると思います。最大の課題はやはりビブラートですが、せめて高野先生がかけましようと言われたところは本番までにきちんとかけられるようにしたいと思います。最後に、寒波襲来でセミナー開催が危ぶまれる中、開催に尽力して下さいました関係者の皆様にお礼申し上げます。



Vc 有福 奈穂子

干波先生をお迎えし、緊張した中で始まったセミナーでしたが、おおらかで親しみやすい雰囲気、なんとなく山岸先生に似ていらっやっで、私たちもすぐにうちとけることができました。始終、和やかな中にも熱のこもった指導をしてください、自分たちでは気がつかないような視点から、たくさんのアドバイスをしていただきました。「リズムを感じて弾くこと」「縮こまらないで大きく弾くこと」「弓の使い方をそろえること」そして何よりも「気持ち！自分たちが楽しんで弾く！」ということ。干波先生の演奏を間近で聴き、ことばだけでは伝わらないニュアンスのようなものを感じ取ることができたように思います。つかみかけたことを忘れないうちに、早く次の練習がしたい！そんなことを感じながらセミナーを終えました。これから本番に向け、ひとつひとつの課題を意識してしっかり練習していければと思います。



♪ 編集後記 ♪

雪が降ったりするなど、毎日寒い日が続いています。皆様いかがお過ごしでしょうか？自称前世ネコの編者はコタツかベッドの毛布で丸くなっていることが多いです。早く春になってほしいですね…そして暖房の使い過ぎで来月の電気代が怖いです(;▽;)

(編:ぶち)